

## 平成 27 年度「テーマ別研究会」応募用紙

提出年月日 平成 27 年 5 月 22 日

研究会名 (仮)	新たな観光価値創造へのアプローチ									
会社名、申込代表者 (グループリーダー)	一般財団法人関西情報センター 深野 二郎									
研究会主旨	<p>(研究会の研究分野、テーマなどできるだけ具体的にご記入下さい)</p> <p>外国から日本への訪問客が急増している。2020年の東京オリンピックに向けて、さらに訪問客は増大していくものと思われる。</p> <p>こうした中、全国の各地域も訪問客の受入れ体制を充実させ、さらに地域の活性化につなげるための方策をあらためて考える必要がある。観光客の望むものは多様であり、また受け入れる地域の特性も多種多様であって、観光施策に成功した地域の「やり方」を踏襲してもうまくいくとは限らない。大事なことは、観光客の視点にたって、観光客の心を動かしているものは何かを探り出すことにある。</p> <p>成功体験の再分析を行い、それに基づき、それぞれの地域での観光資源の活かし方について見直しを行う。さらに、観光客の動機付けとなるような情報発信のあり方、コンテンツの作成、検索対応を考える必要がある。</p> <p>それとともに、スマホなどのモバイル機器は、新たな観光のツールとして大きな注目を浴びており、現在、観光客の情報収集ツールとして最も使われているのがスマホとなっている。単なる Web や SNS による情報収集だけでなく、GPS などと連携したゲーム、あるいは AR などの端末として、その可能性は果てしない。将来動向を見据えておく必要がある。</p> <p>以上の調査を通じ、地域への訪問客拡大のための施策のポイントをとりまとめることとする。</p>									
年間スケジュール	<p>開催予定回数 3 (回/年間) 開催予定</p> <p>(年間スケジュール、開催月、テーマ、発表者、会場など、予定している内容をできるだけ具体的にご記入下さい)</p> <table border="0"> <tr> <td>9月</td> <td>第1回</td> <td>活性化成功事例 (拠点観光型、体験型など) 2~3 事例を紹介し、ポイントを分析</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第2回</td> <td>新たな試みとしてスマホの活用 Ingress、AR などの事例と効果を分析</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>第3回</td> <td>海外への情報発信のあり方 まとめ</td> </tr> </table>	9月	第1回	活性化成功事例 (拠点観光型、体験型など) 2~3 事例を紹介し、ポイントを分析	12月	第2回	新たな試みとしてスマホの活用 Ingress、AR などの事例と効果を分析	2月	第3回	海外への情報発信のあり方 まとめ
9月	第1回	活性化成功事例 (拠点観光型、体験型など) 2~3 事例を紹介し、ポイントを分析								
12月	第2回	新たな試みとしてスマホの活用 Ingress、AR などの事例と効果を分析								
2月	第3回	海外への情報発信のあり方 まとめ								
連絡先 (窓口)	<p>氏名：深野 二郎 所属・役職：理事</p> <p>TEL：06-6346-2543 e-mail：fukano@kiis.or.jp</p>									